

ご報告

昨年(平成29年)12月2日(土)安楽寺(津市一志町波瀬)にて、開創五周年記念法会・新布袋尊霊場開創法会が開催されました。本堂には300名を超える方々が集い、七寺社様による祝詞、般若心経や願い事読み上げに心を寄せました。



曹洞宗太鼓集団・鼓司による奉納演奏

はじめ、檀信徒や地域の皆様に多大なご協力を賜りましたこと、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。おかげをもちまして、三百人を超える方々にお参りをいただきました。

さて、ここで安楽寺についてお話させていただきます。安楽寺は延喜十九年(919年)に醍醐天皇の勅願にて建立されました。建立当時は天台宗であったと伝えられておりますが、寛永元年(1624年)に曹洞宗に改宗されました。本尊は薬師如来。また安楽寺には明王堂があり、烏瑟沙摩明王(うすさまみょうおう)がお祀りされております。この烏瑟沙摩明王は一般に汚れを焼き尽くす仏様、不浄を浄化するといわれ、東司(とうす 便所)にお祀りされています。さらに安楽寺では、東司にお祀りされていることから下半身の病に御利益があるといわれ、昔から地元の方々に信仰されて、足腰や尿漏れ等に悩まれている方がお参りされ、若い方は子宝祈願や安産祈願に訪れます。

安楽寺は一志町波瀬という津の市街地より二十キロほど離れたところにあり、他の霊場よりお参りいただくのは不便なところかとは思いますが、是非、布袋尊・本尊薬師如来・烏瑟沙摩明王の御利益を授かりに来てください。

最後になりましたが津市、そして波瀬地区のより一層の発展を祈願いたしましてご挨拶とさせていただきます。

寺社シリーズ 新布袋尊霊場・安楽寺

■新布袋尊霊場開創にあたって

安楽寺住職 和田正道

皆さん、初めまして。

昨年(平成29年)の十二月二日に開創五周年法会と併せて新布袋尊霊場開創法会を厳修させていただき、榊原地蔵寺様により布袋尊を引き継がせていただきました。法会開催にあたり友の会の皆様を



安楽寺山門

■走って七福神めぐり 八の会 藤岡美也子

師走にしては、温かい日曜日の午後(昨年12月3日)疲れた様子の若者がお寺へ、色紙にご朱印を押し、お茶のお接待、若者は一気に飲み干し、おかわりを・・・足を投げ出し、揉み解していらっしやいました。



「自転車七福神めぐりをしているらっしゃるのですか？」ゆっくりお尋ねしますと『走ってです』昨日12月2日久居から榊原地蔵寺さんまで走って、やっとたどり着くと今日から波瀬の安楽寺さんへと書かれていてびっくり、山道を直走り安楽寺さんへ。そこでは賑やかに、開創記念法会が行われていて自分を温かく迎えてくれているようで感動するもすぐ結城神社さんへ走られたそうです。宮司さんには、夢中で走り、暗くなっていたが榊原の件と安楽寺さんから走って来たことを告げると快くご朱印して下さいとのこと。真っ暗になり、道に迷いながらやっと帰り、今朝又遠方のお寺からと円光寺さんに向かって走る。初馬寺さんから2日間走りっぱなしでやっと四天王寺さんへ、あと津観音寺さんと高山神社さんと思いホッとしたら急に疲れが出て足が痛くなった。でも四天王寺さんで温かいお茶とお菓子を頂戴し、元気が出ましたと喜ばれました。

そして色々お話をされました。結婚してすぐ奥様にガン、そして闘病生活、妻の病氣平癒を願って自分も苦しい方法で七福神めぐりをしようと2日間走り続けたそうです。スタートの一番霊場が閉されていてがっかりしたけれど、榊原から波瀬へ向かって走っている時には、妻の苦しみに比べればこんなことぐらいで、へこたれてはいけないと頑張ったそうです。

車でも大変な山坂長距離をよく走られたことのお話を聞きながら涙がこぼれました。

ご主人様の願い通り1日も早く奥様のご回復を心より願い、山門を走り去る青年を見送りま

した。七福神めぐりのお接待をさせていただいて、このような人がいらっしやることを知り、いっそうお接待の大切さを感じました。

七福神開創5周年記念の日のとても良い出来事でした。

ご案内

観梅祈願祭

しだれ梅の庭園をご堪能ください

とき：2018年2月27日(火) 10時より

ところ：結城神社 拝殿・庭園

津市藤方 2341 TEL059-228-4806

当日9時30分より、先着20名様に七福神案内所にて、拝殿・庭園特別入場券をさしあげます。



■「七福神図 津(オリジナル版)」

が出来上がりました。

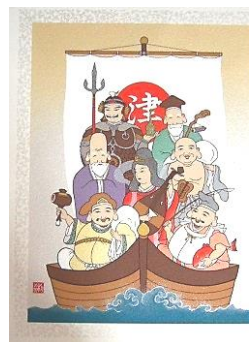
版画摺師：谷中和生さん

津市出身のシルクスクリーン版画の摺

師さんです。今は、滋賀県大津市にお住まいで、

京都造形芸術大学非常勤講師もされてい

ました。この図を七寺社に奉納されましたので、各寺社でご覧になれます。頒布もしていますのでご希望の方は各寺社で申し込みください。



(額付 5,000円)



■納札の効用

山口市龍昌寺住職 竹林史博

毎年四国遍路に出ているが、最近では若者の姿が目立つ。彼らを引き付けるものの一つに「御朱印帳」がある。最近では御朱印集めが静かなブームであるらしい。

そのことは、全国の郵便局の窓口で販売されている『kiitte!』（きいて！）の特集記事が「ご朱印—集めて楽しい！—」であることから伺える。本誌に寄れば、御朱印帳の空白を埋めなくなる心理は「ツァイガルニク効果」とよばれ、日本人が農耕民族時代から、食べ物を蓄えることに大きな喜びを感じていたことに起因するという。

遍路の大切な作法にも一つ「納札」がある。「おさめふだ」または「のうさつ」といい、小さな紙に「奉納四国八十八ヶ所霊場」と書き住所氏名、願い事などを添える。この札を札所ごとに納めていく。



この納札には決まり事があり、巡拝回数まで。青（緑）札は巡拝7回まで。赤札は24回まで。銀札は25回以上。金札は50回以上。錦札は百回以上となる。錦札ともなれば、巡拝者から頂くと床の間に飾られるほどに珍重される。

納札は各自で作るので伊勢七福神巡りでも、この古人の知恵を拝借してはどうだろう。

伊勢一国巡りなら金札、錦札も夢ではない。巡拝の楽しさが倍増すること請け合いである。

七福神って①毘沙門天（ヴァイシュラヴァナ）

元はインドのヒンドゥー教のクベーラ神。戦いの神であったが、仏教に取り入れられてから、福德増進の神としてしだいに民衆に信仰される。



■秩序という事

岡山県笠岡市威徳寺住職 長田 暁一

お寺にはいろんな方がやって来られます。親切な人、自分勝手な人、ノイローゼ気味の人、大人こどもとさまざまです。



先日のこと、この四月に入社したという自我まるだしの若い人がやって来ました。もちろんお寺参りではなくて、あることを頼みに来たんですが、いろんな世間話の中で、「大学を卒業して社会人となった感想は」と尋ねましたら、急に顔を赤らめて言うんです。「社会の現実是不平等ばかりですよ。誰が人間みな平等だなんていったのか。まったくいやになっちゃいました。会社では、上司は絶対なんですから、訓辞は毎朝あるし、命令はするし、挨拶だって必ずこっちが先にしなくちゃいけないんですよ。いったい、仏教では、そこらへんをどう説いているんですか」驚きましたね。社会人になった感想を軽く聞いたつもりなのに。

和尚は、梯子の例を出してお話したことです。「あなた、梯子をご存知でしょう。梯子は使わない時は横に寝かせておくものですがね。その梯子の横木は同じ間隔をとって、同じ長さでもって、平等の姿を表しているではありませんか。つまり、プライベートなときはすべてみな平等というわけですよ。しかし、これが使われるときはどうなると思いますか、梯子は立てなければなりませんね。立てるとどうなりますか、横木にはおのずと上下の区別ができて、そして梯子としての用もなすわけでしょう。会社にしたってその機能上、社長あり部長あり課長ありなんですよ。

単に平等ばかり主張しては秩序の観念を欠くことになりませんか。竹にだって上下の節あり、とも言うじゃありませんか」と答えたことです。



伊勢の津七福神 友の会のご案内

伊勢の津七福神が津市に開創して5年、此の度、布袋尊霊場を榊原地蔵寺から一志町波瀬の安楽寺に交替することとなりました。波瀬の山並み、田園風景を眺めながらの巡拝となりました。

200名の友の会会員の皆様のご協力のもと、この先も歩みを進めて行きたいと思っています。是非ともこの活動に御賛同くださり、巡拝・感謝の心を育て、街おこしの夢を見てみませんか。

会員の方には年3回、友の会便りが届きます。以下の特典もございます。

会費 : 1,000円/年間
金融機関 : 郵便局
郵便振替口座 : 00820-8-123136
口座名義 : 伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内
電話 : 059-225-8558
URL : <http://isenotsu7fukujin>

伊勢の津七福神友の会会員証



様

津市丸之内 27-16 高山神社内
伊勢の津七福神友の会
30 有効期限 平成31年1月31日

■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)

- ・うなぎのつたや 059-228-3005 100円引き
- ・榊原館 059-252-0206 日帰り入浴 お茶進呈
- ・谷石材 0595-21-2148 花筒5%引き
- ・はま作 059-228-3088 和菓子サービス
- ・松菱 7階彦兵衛 059-228-6082 ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス
- ・都ホテル内 059-229-2255 日本料理「浜千鳥」食事の際、10%割引
- ・ホテル三徳 059-223-3109 宿泊客にコーヒー1杯サービス
- ・お菓子處とらや本家 059-228-4802 1000円以上お買い上げでポイント5倍押し
- ・マキノ回生堂 059-228-5331 1000円以上お買い上げの方にティッシュひと箱
- ・長谷川印刷 059-228-4465 名刺100枚ご注文の方、一割引き
- ・飯処 しるべ(大門) 059-261-4116 食事の後、ソフトドリンク1杯サービス



《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内
電話 : 059-225-8558